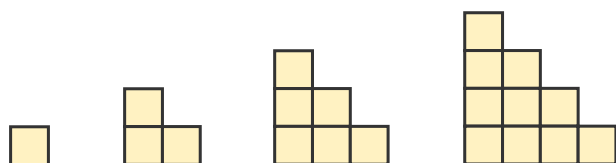


こたえ

ふえ方が変わるきまり

はってん
発展 ①

- ① 1辺が1cmの正方形を、階だんの形に積みます。だんの数□だと、正方形の数○個の関係を調べましょう。



だんの数 □ (だん)	1	2	3	4	5	6	7
正方形の数 ○ (個)	1	3	6	10	15	21	28

ふえる数は、2、3、4、…と 1 ずつ大きくなる

10だんのとき、正方形は $1+2+3+\dots+10=$ 55 個

- ② 正方形の1辺の長さ□cmと、面積○cm²の関係を調べましょう。

1辺 □ (cm)	1	2	3	4	5	6	7
面積 ○ (cm ²)	1	4	9	16	25	36	49

□と○の関係の式 □×□=○

ふえる数は、3、5、7、…と 2 ずつ大きくなる

1辺が2倍になると、面積は 4 倍になる

- ③ ①で、15だん積むには、正方形は何個いりますか。(1から15までの和)

しき

$$(1+15) \times 15 \div 2 = 120$$

こたえ

120個

おうちの方へ

- ふえる数が一定でないときは、「ふえる数のふえ方」に注目します。
- 1から□までの和は、 $(1+\square) \times \square \div 2$ でもとめられます。同じ階だんを2つ、さかさに組み合わせると長方形になるからです。